

青森県のEV・PHVの取組

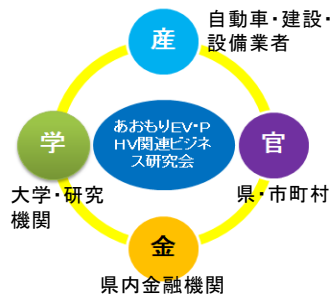
あおりEV・PHV活用産業振興事業 (平成23～24年度)

「あおりEV・PHV関連ビジネス研究会」の設置・開催

県内の産学官金で構成される研究会を設立し、EV・PHVを活用したビジネス可能性の調査・研究を行う。

【内容】

- ・研究会3回、事業者向け研修会2回
- ・参加会員：114団体（H24.3）



ビジネスモデルの検討

事業化促進に向けた3つのビジネスモデルの検討

コンバートEV共通仕様活用モデル

EVを核にした地域スマートビジネス

次世代自動車バッテリー2次・3次活用モデル

フォーラムの開催

研究会の成果、最新事例等をフォーラムにて紹介。



青森発!!
次世代カーライフ

三八上北地域産業連携型EV導入推進事業 (平成23～24年度)

改造EVによる人材育成(三八県民局)

○改造EVスクールの開催

- ・八戸地区の工科系学校の教員・生徒を主な対象として実施。

○EV製作・人材育成ワーキング

- ・EVスクールを通じた改造ノウハウの集積、人材育成策の検討等



改造EVの利用可能性調査(上北県民局)

○改造EV(軽トラ)での農業利用

- ・農業分野における改造EVの活用データや可能性の調査・分析を実施。

○EV利用可能性の調査

- ・観光・福祉分野でのEV活用のモニタリングを行い、ニーズや普及への課題等の検証を行う。



EV・PHVの導入促進と関連産業の振興

七戸町電気バスの取組

町内巡回シャトルバスによる活用事業
(七戸町電気シャトルバス運行：月～金曜日)

電気バス観光事業
(七戸十和田地域次世代自動車リーディング協議会
：土・日曜日)

町民の足として活躍する「電気シャトルバス」

町民の足として、子どもからお年寄りに利用されているコミュニティバス。その1路線を電気バスが運行しています。

利用者からは、音が静かで隣の人の声がよく聞こえる、環境に優しいバスということで乗っていて気分がいい等のご意見をいただいています。

【内容】

- ・町内巡回バス8路線（うち、1路線電気シャトルバス）
- ・月平均利用者数：約1,200名
- ・1充電あたりの走行距離：27km
- ・1日5往復
- ・11月1日現在：約20,000km走行



道の駅しちのへ
充電ステーション



七戸病院



七戸町役場



老人福祉センター

1日5往復運転

地域連携によるエコ観光事業の推進

○電気バスによるエコ観光

・七戸十和田駅から十和田湖・奥入瀬渓流といった観光地に電気バスで移動できるよう、他自治体とも連携して事業実施しています。

この電気バスを使った旅行商品は、EV観光でしか味わえない、食や観光場所を設けるなど工夫を凝らし、五感で味わうことのできる、この地ならではの観光商品の造成を目指して行っています。（平成24年度実施）



七戸十和田駅



十和田湖カヌー



奥入瀬渓流・萁沼
スノーランブリング